

自分を壊す勇氣

立川志の春

クロスメディア・パブリッシング

修ゼ自
業口分
かを
ら壊
のし
て

セロから の 修業

「やりたいことがあるけど、なかなか一歩が踏み出せない」

という人は、たくさんいます。

“やりたいこと”が趣味であれば気は楽ですが、今の会社を辞めて、全力で向かい合わなければならないことだったら、そりゃあ、前向きなこと、後ろ向きなこと、辞める理由、辞めない理由をいろいろ考えてしまいます。

自分を壊す勇気って、ちょっと大げさかもしれませんが、これまでのキャリア

とまったく異なる世界に飛び込むには、肩書や快適な環境を捨てる覚悟が必要になります。

それまで自分自身が思い描いていた「自分らしさ」や「個性」の概念を、一旦壊す必要もあります。

いや、自ら壊すまでもなく、まずは徹底的に粉々に壊されるかもしれません。

それは大変なことです。だって、しがみつくものがなくなってしまうわけですから。でも、そうして新しい世界の流儀に従うことが、その世界で生きていく唯一の方法です。

たとえ傍からどう見えようとも、やりたいことに向かっているわけですから、当人は幸せなんです。ただ必死だけです。

私にとって、修業というのはもはやもやとした自分の中の「自分らしさ」や「個性」を叩き壊すことで、新たなものを手に入れるために必要不可欠な過程でした。

まえがき

最寄駅までの道を歩いていて、顔は知っているけれども名前までは知らない同じマンションの住人と目が合ったりすることや、いつも配達に来てくれる宅配会社のお兄さんとすれ違ったりすること、ありますよね。そういう時、一瞬、挨拶をしようか、目をそらして気付かなかった振りをしようか、迷ったりすることありませんか？

もしくは電車で座っていたところ、次の駅でお年寄りの方が乗ってきて目の前に立ったので、さっと立ち上がって座席を譲ろうか、寝たふりをしようか迷ったりすること、ありませんか？

挨拶をしても自分のこと、気付いてもらえないかもしれない。挨拶をするほどの個人的な間柄じゃないよと内心思われるかもしれない。座席を譲ろうとしても、すぐに降りますからと断られるかもしれない。中には年寄り扱いをされたと気を悪くする人もいるかもしれない。

やらない理由がそういう時には矢継ぎ早に頭の中に浮かんできます。

ところが反対に、自分が目をそらそうか迷っているうちに向こうから笑顔とともに気持ち

のいい挨拶をされたり、寝たふりをしようか迷っている間に隣の人がスツと立ち上がって座席を譲ったりしたら、すつごく後悔するんです。くだらない言い訳にとらわれていないで、なんですぐに動けなかったんだと。たとえ結果的に無視されたとしても、断られたとしても、モヤモヤした気持ちを抱えるよりはずっとましだったと、後から気付くんです。やったが絶対に気持ちがいいんです。

これ、小さなことのようにですが、案外人生の決断も同じなんじゃないかなと思います。どうしようかなと思った時、動かない自分を納得させる言い訳はいくらでも出てきます。でも言い訳って、不安だったり、自分が間違っていると心の中で思ったりしているから出てくるんですよね。だから自分に対して言い訳をしなくていいような選択をする、これが大事なんだと思います。つまりこういうことです。

言い訳を したって何も いいわけない

今ここまで読んでいただいて買おうか買わないか迷っている方、買わない理由はいくらでも浮かんでいるかもしれません。でもせっかく手に取られたんです、思いきって買ってみてください。少なくとも買わない後悔はしなくて済みます。買った後悔？それは……一晩寝りゃあ忘れますよ。

目次

自分を壊してゼロからの修業 3

まえがき 6

第1章

直感を信じる

12

直感について 14

偶然出会ったことの意味 19

まず実物に触れる 26

後悔について 34

観る側から観られる側へ 36

原動力となるもの 38

マイナスの経験 43

覚悟 56

コラム 偶然と必然(マイナスの経験)

59

第2章

行動する

64

退職届を出す前に

66

才能について

75

相談のデメリット

86

コラム 彼氏・彼女(パートナーシップ)

97

第3章

自分を壊す

102

オリジナリティって？

104

気遣いがすべて 110

マクドナルド事件 119

財布事件

名刺の一件 129

言葉を超えるコミュニケーション 132

ゼロになる 144

継続の心得 152

コラム 師匠への信頼（絶対的な存在） 158

第4章

自分を作る

162

昇進と変化 164

ここからがスタート 171

新たに求められること 174

鍛錬 180

直面する課題 184

武器を持つ 189

ディベートの視点 190

語学力 195

転機 199

本質を見極める 202

評価の捉え方 208

悪口を言われる側になれ 210

もしサラリーマンを続けていたならば 214

生涯の関係 219

最後に 220

コラム 自分をなくす(セルフレス) 222

新作落語「ナンシー」 225

あとがき 238